

“水” ～科学と感性の融合をめざして～

6月12日（日） 13：00-16：10

千葉県立中央博物館 講堂

料金：シンポジウム参加費 無料（当日先着順 定員200人）
（ただし常設展示室への入館料は 一般 300円 高・大学生 150円）

<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

水は身近な物質。命にかかわる大切な資源。でも、そんな水のことを皆さんは、真剣に考えたことはありますか？
日本では、特に水は当たり前のように存在するものなので、普段そんなことを誰も意識して考えないですね。
7月に始まる企画展が水の不思議な性質やそれによって成り立つ地球の姿を理解し、さらには水を通して自分の命を考えてもらうきっかけになればと、今準備しているところです。本シンポジウムでは水の循環や、私たちの暮らしと水との関係をわかりやすく紹介します。また水から受ける感動をプロのミュージシャンによる演奏で実際に表現するという新しいアプローチなど、面白いプログラムをご用意しています。
またとない機会ですので、是非、子どもさんたちも一緒に、ご家族でお越しください。

プログラム：

13：00～13：10 挨拶

13：10～14：00 沖大幹（東京大学生産技術研究所）

「地球をめぐる水と、水をめぐる人々」

14：10～14：30 高谷秀司（ギタリスト）

「水（H₂O）から受ける感動～音楽家として～」

14：30～15：30 パネルディスカッション 沖大幹・高谷秀司・小川かほる

「“水”～科学と感性の融合をめざして～」

15：40～16：10 ギター演奏「水の変容」

16：10 閉会

講演 沖大幹（おきたいかん）

東京都生まれ。

兵庫県西宮市で育つ。東京大学生産技術研究所 助教授 博士(工学)、東京大学生産技術研究所助手、講師、助教授を経て1997年より現職。その間、日本学術振興会海外特別研究員として、NASA（アメリカ航空宇宙局）ゴッダード宇宙飛行センターの客員科学者を2年間勤める。専門は地球水循環システム。特に広域の陸面水文学のリモートセンシング、グローバルな水循環と水収支のモニタリングとモデリング、現状から将来へ向けた世界規模の水資源アセスメント、ヴァーチアルウォーターの交易、水を軸とした千年持続学の研究など。2000年には土木学会水工学論文賞を受賞。



<http://hydro.iis.u-tokyo.ac.jp/~taikan/taikanJ.html>

演奏 高谷秀司（たかたに ひでし）

大阪府生まれ。

ギブソン専属契約ギタリスト、NPOミュージックカフェ理事長、千葉県立中央博物館共同研究員、元通信総合研究所特別研究員。スタジオミュージシャンを経て、渡米。UCLA 経営学科卒業。帰国後、ギタリスト、サウンドプロデューサー、FMのDJ、さらにビジネストレーナー、会社経営、エッセイストなど、様々な分野で多彩な才能を発揮。最近では、音楽の平和イベントプロデュース、また、音・詩・絵のコラボといった多角的アートで音楽の可能性を追求。自ら率いるバンド"SOUL MATES"でも日本にとどまらずスペイン・香港・オーストラリアなど世界各地で活躍中。現在アルバム製作中。今年6月、BSMF RECORDSより発売予定。



<http://www.takatani.com/> takatani@skygroup.jp 03-3470-7013

司会 小川かほる（千葉県立中央博物館）

「ワクワクたいけん2005 旅する地球の水」

平成17年度 千葉県立中央博物館企画展 主催 千葉県立中央博物館

期間：平成17年7月2日（土）～8月31日（水） 場所：千葉県立中央博物館（県立青葉の森公園内）

入館料：一般 500円 高・大学生 250円 中学生以下 無料

お問合せ先：千葉県立中央博物館 環境教育研究科

TEL：043-265-3167, FAX：043-266-2481、〒260-8682 千葉市中央区青葉町 955-2（県立青葉の森公園内）